



株式会社 アイネット

2023 年 3 月期第 2 四半期決算説明会

2022 年 11 月 8 日

イベント概要

[企業名]	株式会社アイネット		
[企業 ID]	9600		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2023 年 3 月期第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2022 年度 第 2 四半期		
[日程]	2022 年 11 月 8 日		
[ページ数]	25		
[時間]	15:00 – 15:28 (合計：28 分、登壇：25 分、質疑応答：3 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	3 名		
	代表取締役 兼 社長執行役員	坂井 満	(以下、坂井)
	取締役 兼 専務執行役員	佐伯 友道	(以下、佐伯)
	取締役 兼 常務執行役員	内田 直克	(以下、内田)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



登壇

司会：本日はお忙しい中、株式会社アイネット、2023年3月期第2四半期決算説明会ライブ配信にご参加いただき、誠にありがとうございます。

早速、決算説明会を開始いたします。

はじめに、本日の出席者をご紹介します。

株式会社アイネット、代表取締役兼社長執行役員、坂井でございます。

坂井：皆さん、いつもありがとうございます。坂井でございます。本日はよろしく願いいたします。

司会：事業統括をしております。取締役兼専務執行役員、佐伯でございます。

佐伯：事業統括の佐伯でございます。よろしく願いします。

司会：財務を統括しております。取締役兼常務執行役員、内田でございます。

内田：内田です。よろしく願いします。

司会：続きまして、本日の流れをご説明いたします。はじめに、坂井より決算説明をさせていただきます。その後、質疑応答のお時間とさせていただきます。なお、本日はお時間の都合上、全ての質問に回答しかねる場合がございます。あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

それでは、お時間となりましたので、始めさせていただきます。

坂井社長、お願いいたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



目次

- 1 2023年3月期第2四半期の業績
- 2 配当金
- 3 トピックス
- 4 参考) 中期経営計画 (2022年度 – 2024年度)
- 5 参考) 会社概要

坂井：アイネット社長の坂井でございます。本日は貴重なお時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。本日はオンラインにて開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、2023年3月期第2四半期の決算に関するご説明を始めさせていただきます。

本日のご説明内容につきましては、ご覧のようになっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2023年3月期第2四半期連結累計期間：連結損益状況



(単位：百万円)	2022年3月期2Q		2023年3月期2Q		前期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	14,935	100.0%	16,808	100.0%	1,872	12.5%
売上原価	11,559	77.4%	13,278	79.0%	1,719	14.9%
売上総利益	3,376	22.6%	3,530	21.0%	153	4.5%
販管費	2,389	16.0%	2,470	14.7%	80	3.4%
営業利益	986	6.6%	1,059	6.3%	72	7.4%
経常利益	1,095	7.3%	1,074	6.4%	△ 20	△1.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	715	4.8%	648	3.9%	△ 66	△9.4%
1株当たり利益（円）	44.78	—	40.56	—	△ 4.22	△9.4%

- 売上高は前年同期比12.5%増となり好調に推移。
- 増収効果は大きかったものの、電気料金などの高騰に伴う原価高により売上総利益率が1.6%低下。
- 営業利益は増益を維持したものの、前年同期に計上した一時的な損益が無くなったことなどから、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となった。

©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

注) 内訳と合計の金額は、四捨五入の関係で一致しないことがあります。

4

まず、2023年3月期第2四半期の業績からご説明いたします。

当第2四半期連結累計期間の損益計算書でございます。前年同期と比較した資料になります。

数字はご覧の通り、売上高168億800万円、前年同期比12.5%増、営業利益10億5,900万円、前年同期比7.4%増、経常利益10億7,400万円、前年度同期比1.9%減、親会社株主に帰属する四半期純利益6億4,800万円、前年同期比9.4%減となりました。

売上高は前年同期比12.5%増とあり、好調に推移いたしました。増収効果は大きかったものの、電気料金などの高騰にともなう原価高により、売上総利益率は1.6%低下となりました。営業利益は増益を維持したものの、前年同期に計上した一時的な損益がなくなったことから、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



(1) 情報処理サービス

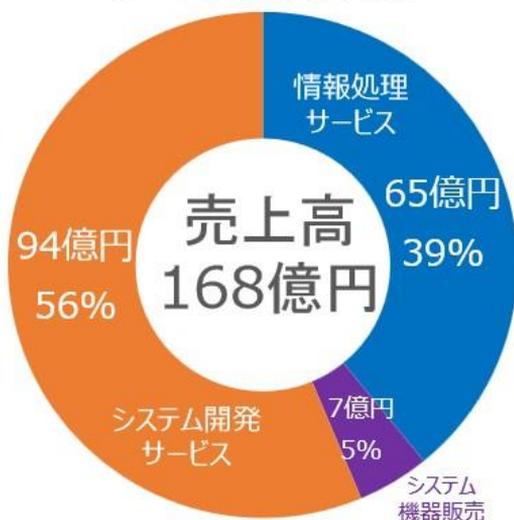
データセンター・クラウドサービス
受託計算サービス
メーリングサービス 等

(2) システム開発サービス

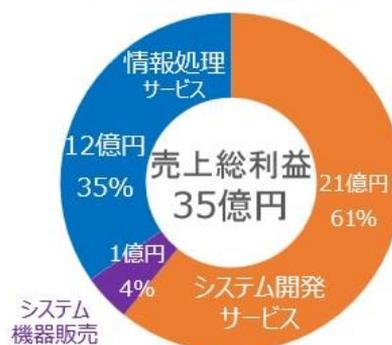
ソフトウェア受託開発
ハードウェア受託開発 等

(3) システム機器販売

サービス別売上高



サービス別売上総利益



©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

注) 内訳と合計の金額は、四捨五入の関係で一致しないことがあります。

5

こちらは、サービス別の売上高／売上総利益を表したものでございます。

当社のサービスは、情報処理サービス、システム開発サービス、システム機器販売の三つがございます。この円グラフは、当第2四半期、連結累計期間の売上高と売上総利益の三つのサービス別の割合をお示ししております。

売上高の構成を見ますと、システム開発サービスは全体の56%、情報処理サービスが39%、システム機器販売が5%となっております。

売上総利益の構成で見ますと、システム開発サービスが全体の61%、情報処理サービスが35%、システム機器販売が4%となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2023年3月期第2四半期連結累計期間：サービス別収益の実績

(単位：百万円)		2022年3月期2Q	2023年3月期2Q	前期比	
		金額	金額	増減額	増減率
情報処理サービス	売上高	6,077	6,570	492	8.1%
	売上総利益	1,434	1,225	△ 208	△14.5%
	売上総利益率	23.6%	18.7%	△4.9%	－
システム開発サービス	売上高	8,339	9,462	1,122	13.5%
	売上総利益	1,837	2,142	304	16.6%
	売上総利益率	22.0%	22.6%	0.6%	－
システム機器販売	売上高	518	776	257	49.7%
	売上総利益	104	161	57	54.6%
	売上総利益率	20.2%	20.8%	0.7%	－
合計	売上高	14,935	16,808	1,872	12.5%
	売上総利益	3,376	3,530	153	4.5%
	売上総利益率	22.6%	21.0%	△1.6%	－

- 各サービスすべてにおいて、売上高は前年同期を上回り好調に推移した。
- 「情報処理サービス」は、増収となったものの、電気料金などの高騰により売上総利益は前年同期比△14.5%と大幅な減益。省エネ機器への転換や顧客の理解を得る形で収支の改善を図っている。
- 「システム開発サービス」は既存顧客からの開発案件が増加しており、好調に推移。利益率も0.6%UP。

©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

注) 内訳と合計の金額は、四捨五入の関係で一致しないことがあります。

6

次に、当第2四半期連結累計期間の三つのサービス別の売上高と売上総利益、および前年同期との比較について述べます。

情報処理サービスは、売上高 65 億 7,000 万円、前年同期比で 8.1%増、売上総利益 12 億 2,500 万円、前年同期比で 14.5%減となりました。データセンターサービスの利用増加や、人々の移動活発化にともなうガソリンスタンドの受託計算サービスが寄与し増収となりました。しかしながら、電気料金の値上げなどによる原価高騰により、利益が圧迫されまして、売上総利益は誠に遺憾ながら減益となりました。

次に、システム開発サービスは、売上高 94 億 6,200 万円、前年同期比 13.5%増、売上総利益 21 億 4,200 万円、前年同期比 16.6%増となりました。システム開発サービスの売上高は、金融業、流通業、通信業および宇宙関連事業において、開発のノウハウや技術力が大変評価されて好調に推移いたしました。売上総利益については、開発要員の運営効率を改善したことにより、前年同期比で増加いたしました。引き続き、収益性の向上を図ってまいります。

システム機器販売は、売上高、売上総利益ともに前年を上回る水準を確保しております。

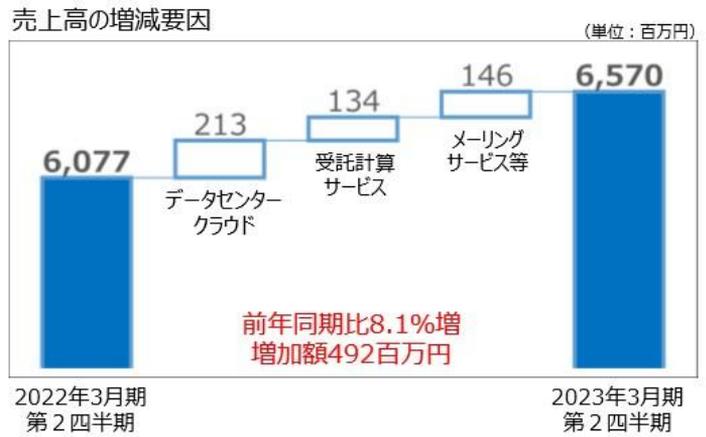
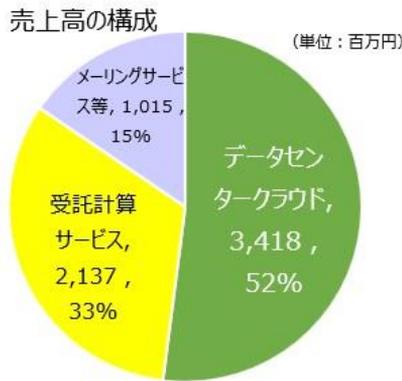
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



いずれのサービスにおいても、売上高が順調に伸びております。引き続き、バランスの取れた事業ポートフォリオを持つ当社の強みを生かして、業績の向上を目指してまいります。

2023年3月期第2四半期連結累計期間：情報処理サービス



売上総利益の構成



売上総利益の増減要因



©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

注) 内訳と合計の金額は、四捨五入の関係で一致しないことがあります。

7

情報処理サービスの当第2四半期連結累計期間の売上高と、売上総利益の構成と増減要因についてご説明いたします。

情報処理サービスは、データセンタークラウドサービス、ガソリンスタンド向けの受託計算サービスおよびメールサービス等の三つで構成されております。

向かって左上の円グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上高の構成を示しております。

データセンタークラウドサービスは売上高 34 億 1,800 万円、情報処理サービスの売上のうち 52% を占めております。以下、同様にガソリンスタンド系の受託計算サービスが 21 億 3,700 万円、33%、メールサービス等が 10 億 1,500 万円、15%となりました。

向かって右上の棒グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上高の増減要因について、サービスの種類別に記載しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



三つのサービス全てで増収を確保いたしました。

次に、売上総利益についてご説明いたします。

向かって左下の円グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上総利益の構成を示しております。

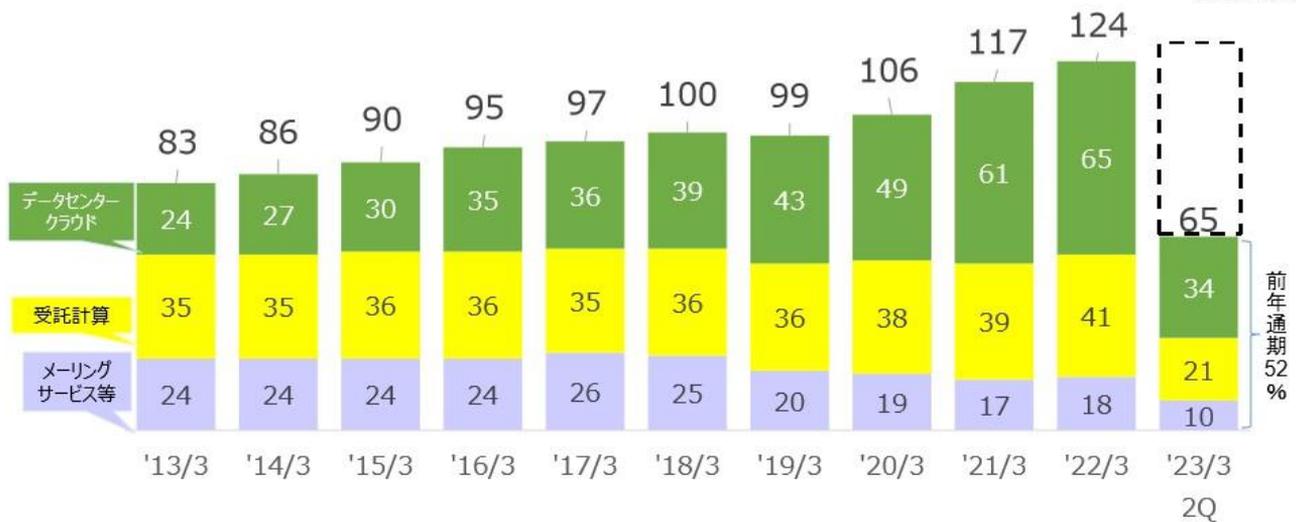
データセンタークラウドサービスが2億5,000万円、売上総利益の21%を占めており、以下同様に、サービスステーション向けの受託計算サービスは7億7,600万円、63%、メーリングサービス等が2億円、16%となりました。

向かって右下の棒グラフをご覧ください。情報処理サービスの売上総利益の増減要因については、サービス別に記載しております。

データセンタークラウドサービスが2億8,200万円の減益となっております。これは電気料金等が高騰しているため、原価が高止まりし、収益率が大幅に低下したことによるものであります。受託計算サービス、メーリングサービス等は増収により増収増益を確保しております。

情報処理サービス／売上高の推移

inet
(単位：億円)



- この10年間の情報処理サービス部門の売上高は、「データセンタークラウドサービス」の成長に伴い増加。
- 当第2四半期連結累計期間の同部門の売上高65億円は、前年度同期売上高124億円の52%に相当。
- 「受託計算サービス」は安定した売上を維持してきたが、ここ数年、売上高は徐々に増加してきている。背景として、小売業者が業務システムを自社所有から、業務系プラットフォームの利用に転換する流れがあり、実績のある当社サービスの利用が増えているためである。
- 「メーリングサービス」は昨年度より増収基調に転じている。競合先が減少している上、自社センターでお預かりするデータを印刷から郵便まで自社で一貫して対応できる当社サービスが評価されているためである。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

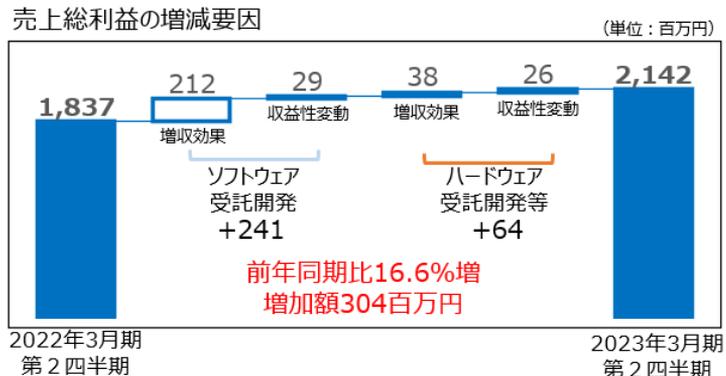
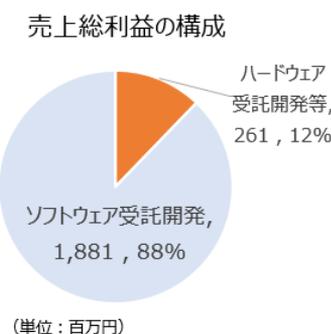
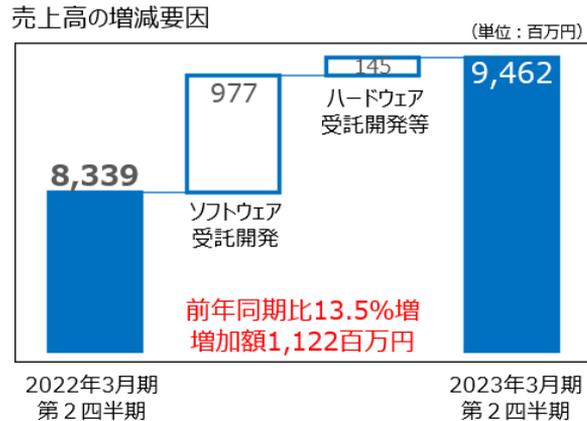
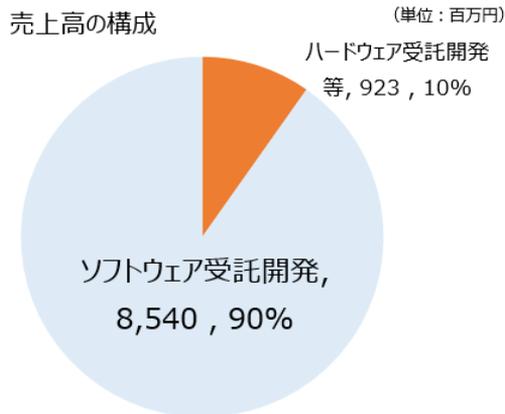
次に、当社が注力している情報処理サービスのこれまでの歩みについて、ご紹介させていただきます。このグラフは、情報処理サービスの過去10年間の売上高推移でございます。

ここ数年、当社が最も注力してきたデータセンタークラウドサービスの売上高が、この10年間で市場の成長とともに、大きく成長したことがわかりいただけると思います。当第2四半期連結累計期間の売上高は、すでに前年度の52%に相当する売上高を計上しております。

ガソリンスタンドの受託計算サービスは、安定した売上を維持してまいりました。最近、売上高が徐々に増加してきております。背景といたしましては、小売業者が業務システムを自社所有から、業務系プラットフォームの利用に変換する流れがございます。実績のある当社サービスの利用が増えているためであると見ております。

メーリングサービスは昨年度より増収基調に転じております。競合先が減少している上、自社センターでお預かりするデータを印刷から郵便まで、自社で一貫して対応できる当社のサービスが評価されているためでございます。

2023年3月期第2四半期連結累計期間：システム開発



サポート

システム開発サービスの当第2四半期連結累計期間の売上高と、売上総利益の構成と増減要因についてご説明いたします。

システム開発サービスは、ソフトウェア受託開発とハードウェア受託開発の二つで構成されております。

向かって左上の円グラフをご覧ください。システム開発サービスの売上高の構成を示しております。

ソフトウェア受託開発が売上高 85 億 4,000 万円、システム開発サービスの売上のうち、90%を占めております。以下同様に、ハードウェア受託開発は 9 億 2,300 万円で、10%となりました。

向かって右上の棒グラフをご覧ください。システム開発サービスの売上高の増減について、サービス別にお伝えしております。

ともに増収を確保しております。

次に、売上総利益についてご説明いたします。

向かって左下の円グラフをご覧ください。システム開発サービスの売上総利益の構成を示しております。

ソフトウェア受託開発が 18 億 8,100 万円、システム開発サービスの売上総利益の 88%を占めており、以下同様に、ハードウェア受託開発が 2 億 6,100 万円で、12%となりました。

向かって右下の棒グラフをご覧ください。売上総利益の増減要因について、サービス別に記載しております。

ソフトウェア受託開発が 2 億 4,100 万円の増益となっております。増収による利益の増加が寄与いたしました。ハードウェア受託開発も増益を確保しております。

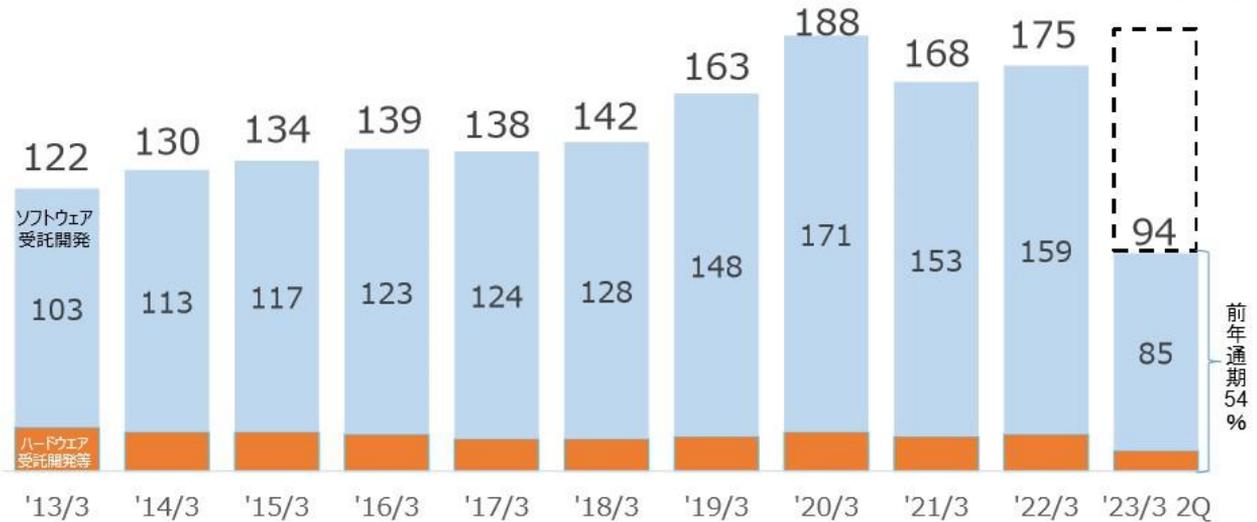
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

システム開発／売上高の推移



(単位：億円)



- この10年間のシステム開発部門の売上高は、M&Aなどもあり、2020年3月期まで每期増収を達成。2021年3月期に新型コロナウイルス感染症により初めて減収となったものの、翌期2022年3月期から再度増加に転じている。
- 当第2四半期連結累計期間の同部門の売上高94億円は、前年度通期売上高175億円の54%に相当。
- 当社グループが以前より強みを持つ、金融業、流通業、通信業及び宇宙関連事業向けのシステム開発案件が年々増加しており、ソフトウェア受託開発サービスの売上増加につながっています。
- 2019年3月期にソフトウェア開発子会社1社がグループ入り。子会社2社の業績も好調に推移しており、開発サービス部門全体の業績に貢献している。

©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

注) 内訳と合計の金額は、四捨五入の関係で一致しないことがあります。

10

この棒グラフは、システム開発サービスの過去10年間の売上高の推移でございます。

これまで順調に売上を伸ばしてまいりました。2019年3月にソフトウェア開発子会社1社がグループ入りし、売上が増加し、2020年3月期には過去最高の売上高を計上いたしました。

2021年3月期に新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に売上高が落ち込みましたが、翌2022年3月期には落ち込みをカバーし、増収を計上しております。

当期2023年3月期第2四半期連結累計期間においても、増収の傾向は変わりなく、すでに前年通期の54%に相当する売上高を計上し、好調に推移してきております。

特に金融業、流通業、通信業および宇宙関連事業のシステム開発案件が増加してきております。また今年度はグループ会社2社の業績も好調に推移しており、開発サービス部門全体の業績に貢献しております。他の業種の商談も増えてきておりますので、今後も事業の拡大に努めてまいりたいと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



2023年3月期第2四半期末：連結貸借対照表



(単位：百万円)	2022年3月末		2022年9月末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	10,701	31.9%	10,682	32.2%	△ 18	△0.2%
固定資産	22,802	68.1%	22,498	67.8%	△ 304	△1.3%
総資産	33,503	100.0%	33,181	100.0%	△ 322	△1.0%
流動負債	9,903	29.6%	9,530	28.7%	△ 372	△3.8%
固定負債	6,295	18.8%	6,286	18.9%	△ 9	△0.1%
総負債	16,199	48.4%	15,817	47.7%	△ 382	△2.4%
純資産	17,304	51.6%	17,363	52.3%	59	0.3%
負債・純資産合計	33,503	100.0%	33,181	100.0%	△ 322	△1.0%

総資産は前期末比△322百万円、総負債は△382百万円

- 総資産の減少は主に市場性のある有価証券の評価減によるもの。
- 2022年9月末時点での現預金残高は3,488百万円（前期末比196百万円減）、有利子負債残高は9,170百万円（短期3,270百万円、長期5,900百万円、前期末比246百万円増）。
- 自社データセンター等への設備投資に相当する有形固定資産の取得額は746百万円（前年同期比377百万円増）。設備増強や機器の更新などへの投資を実施したものの。

©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

注) 内訳と合計の金額は、四捨五入の関係で一致しないことがあります。

11

続きまして、連結貸借対照表です。

総資産残高は331億8,100万円となり、前期末比で3億2,200万円減少いたしました。主に、保有有価証券の評価額の見直しによるものであります。有利子負債残高は91億7,000万円、前期末比で2億4,600万円増加、現預金残高は34億8,800万円、前期末比で1億9,600万円の減少となりました。

当社の自社データセンター等への設備投資実施額は7億4,600万円でございます。機器の更新などへの投資を実施したものであります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



(単位：百万円)	通期業績予想(*)	第2四半期累計	進捗率
売上高	33,500	16,808	50.2%
営業利益	2,640	1,059	40.1%
経常利益	2,770	1,074	38.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,830	648	35.4%

(*)2022年5月6日公表の通期の連結業績予想

- 売上高は期初想定のとおりに進展中。引き続き順調に推移。
- 電気料金を中心とする原価の高騰は期初想定以上。対策として、省エネ機器への入れ替え、価格見直しなどを進めて、原価抑制に努めている。
- 併せて、売上増による収益の向上、及び販管費の削減等により、通期業績予想の達成を目指す。

続きまして、2023年度3月期の通期の見通しについて述べさせていただきます。

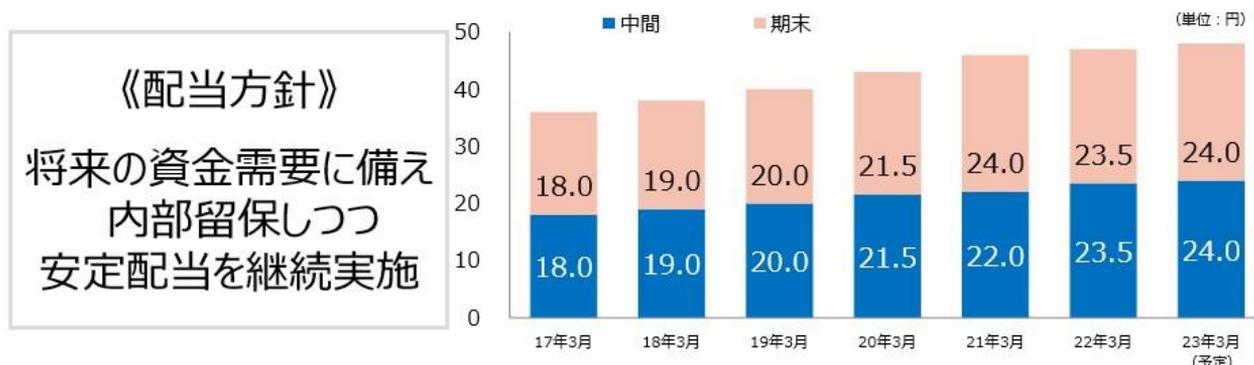
売上高は通期業績予想 335 億円に対し、168 億 800 万円となり、進捗率は 50.2%と、期初の想定どおりに進展しております。営業利益は通期業績予想の 26 億 4,000 万円に対して 10 億 5,900 万円、進捗率は 40.1%、経常利益は通期予想 27 億 7,000 万に対して 10 億 7,400 万円、進捗率は 38.8%、通期業績予想の 18 億 3,000 万に対して 6 億 4,800 万円、進捗率は 35.4%であります。

電気料金を中心とする原価の高騰は期初の想定以上となっており、現在、省エネ機器への入れ替え、価格の見直しなどを進めており、原価抑制に努めております。大変厳しい状況ではございますが、さらなる売上増による利益の確保および販管費の削減等により、引き続き業績の達成を目指してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2023年3月期第2四半期連結累計期間の配当金：1株当たり配当額24円



1株当たり年間配当金（11期連続増配を予定）



次に、配当についてご説明いたします。

当社は、安定的に配当することを基本方針としております。

2023年3月期第2四半期連結決算に対する配当金につきましては、1株当たり24円といたしました。2023年3月期については、通期合計で48円の配当実施を見込んでおります。なお、これで11期連続の増配となります。

アイネットは、社会課題を新たな事業で解決する取り組みを推進しています。
 移動困難者と介護タクシー事業者を最適にマッチングし、予約から決済までを可能とするシステムを構築することにより、介護タクシー利用や移動困難者の外出にかかる課題を解消するとともに、利用者のニーズ拡大による需要の創出を目指しています。
 現在、神奈川県の藤沢市、鎌倉市で実証実験を行っています。



©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

16

当社に関する最近のトピックスについて、いくつかご紹介したいと思います。

まず当社は、誰もが気軽にお出かけしたくなる社会の実現に向けて、ヘルスケア MaaS 事業を新たな事業として推進しております。当社が開発した介護タクシーシステムは、介助の程度や必要な医療器具、フルリクライニングする車椅子の搭載可能等の条件を指定する仕組みになっております。

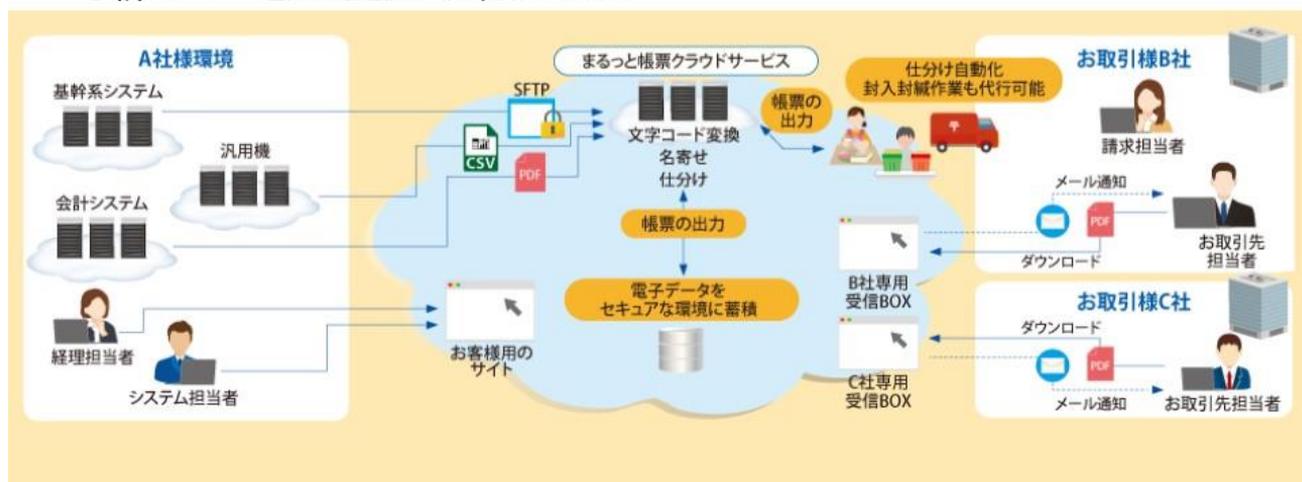
このシステムを社会実装することにより、移動困難者が気軽に外出でき、介護タクシー事業者や、病院、介護施設等の DX 化によるメリットを、外出したい誰もが受けられる、そのニーズ拡大と需要の創出を事業拡大につなげていく所存でございます。現在、神奈川県の藤沢市および鎌倉市で実証実験を進めています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

紙の帳票と電子版の帳票両方に対応可能な新帳票ソリューションの提供開始 *inet*

当社のメーリングサービスとユニリタの「まるっと帳票クラウドサービス」（利用者に帳票を電子配信するクラウドサービス）を融合した帳票業務の効率化を実現する新しいサービスの提供を開始しました。



これにより以下3つが実現可能となります。

- 印刷と電子配信のメリットを併せ持つ運用により帳票業務のDX化を実現
- お客さまのタイミングに応じて送付手段の選択に柔軟に対応
- 当社データセンター内での処理完結によるデータの外部流出リスク極小化

©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

17

また、2022年6月、株式会社ユニリタさんと当社のメーリングサービスを融合した帳票業務の効率化を実現する、新ソリューションサービスの提供を開始いたしました。

両社のサービスを融合することで、帳票の電子配信と、印刷配送を併用したハイブリッドな帳票運用が可能となり、煩雑な帳票業務のDX化が実現できます。

また、こちらのサービスは当社データセンター内で処理を完結しているため、データが外部流出するリスクを最小限に抑えることができます。こうした万全なセキュリティ環境を提供し、お客様の様々なニーズにお応えしてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

AIサイバーセキュリティのグローバルリーダーである英国のダークトレース社と販売代理店契約を締結し、独自の自己学習型AI技術を駆使してネットワーク上のあらゆるサイバー脅威の検知・調査・遮断を1つのプラットフォーム上で自律的に行うNDR製品『Darktrace Immune System』を販売しております。これにより、業種問わずセキュリティの対象範囲が広がり、セキュリティ商品の強化に繋がりました。引き続き、企業のセキュリティ対策のご支援のため、世界最高レベルのツールをご提供してまいります。



©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

18

2022年の7月には、AIセキュリティのグローバルリーダーである英国のダークトレース社さんと販売代理店契約を締結し、セキュリティ商品の取り扱いを強化いたしました。

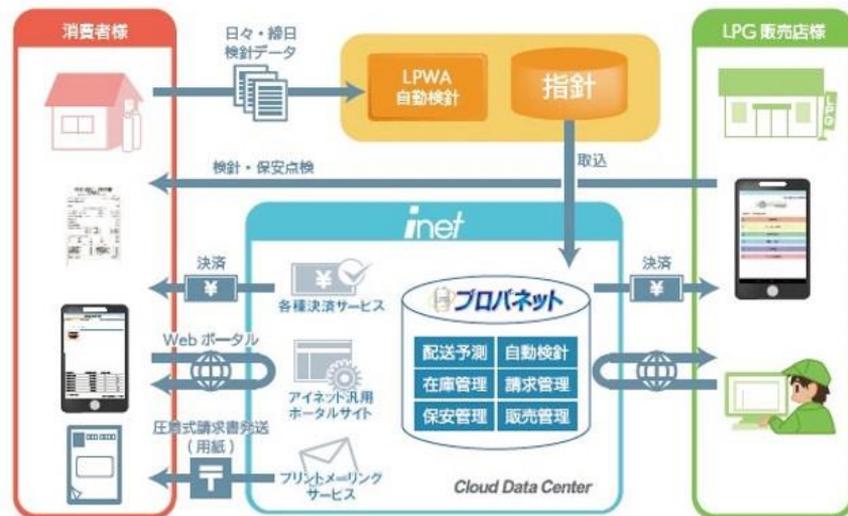
未知の脅威や内部犯行、多様化、巧妙化する攻撃に対して、独自の自己学習AIを駆使することで、予測可能なあらゆるサイバー攻撃から防御いたします。企業のセキュリティ対策のご支援のため、世界最高レベルのツールをご提供してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

LPガス向けスマートメーター事業「プロパネット」が急成長中 *inet*

プロパネットは、当社が提供するLPガス小売業向けクラウドタイプのLPガス販売管理システムです。LPガス小売業様の業務効率化、DX推進に最適なツールとして、好評を博しております。



- ✓ ・検針票代行発送サービスやWebポータルシステム、保安点検タブレット端末、各種決済サービス連携等、充実した機能を搭載
- ✓ ・アイネットのデータセンターにてデータ管理、災害対策、BCP対策等に効果的
- ✓ ・導入・維持コストの低減を実現。

©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

19

これは、当社が提供するLPガス向けスマートメーター事業のプロパネットが、急成長してきております。

このサービスは、クラウドタイプのLPガス小売業者さん向けの販売管理システムでございます。システムは当社のデータセンターで管理しており、開発から運用、営業サービス、コールセンターまでを、一貫して当社が自社でご提供しております。LPガス小売業さんの業務効率化、DX推進に最適なツールとして好評を博しております。すでに100社以上のお客様とご契約をいただいております。引き続き、同事業の拡大に注力していきたいと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

今期からサービス導入事例の掲載に注力しております。
導入事例を掲載することにより、「当社の信頼感の向上」、「お客様にサービス活用のイメージをして頂く」、「サービス導入を検討しているお客様の背中を押す」などの効果も期待できるため、今後も多くの事例を公開していきます。



【導入事例ページURL】
<https://www.inet.co.jp/product/case/>



©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

また、今期より、当社サービスの導入事例について、当社のコーポレートサイトに掲載を始めさせていただきます。

導入事例を掲載することで、当社への信頼感の向上、お客様にサービス活用のイメージを持っていただけるなど、効果が期待できます。今後も多くの事例を公開していきたいと思っています。画面右下の URL、QR コードより、ぜひご覧になっていただければと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

社員が経営における最大の財産であるという考えのもと、社員が心身ともに健康であることこそが、持続的な企業価値向上の源泉であると考え、健康経営を推進しています。社員のみみんなが安心して力を発揮できる労働環境をつくるため、ワークスタイルの変革を推進します。

ホワイト500 (4年連続認定)



横浜健康経営認証2022

最高ランクの「AAA」認証を取得
(アイネット、アイネット・データサービス)



「健康に関する主な取り組み」

- 健康経営を宣言
- 人事部・健康支援室・健康保険組合が連携

©2022 I-NET Corp. All Rights Reserved

21

また、当社は健康経営を進めております。

社員は経営における最大の財産だと考えています。社員が心身ともに健康であることこそが、持続的な企業価値向上の源泉であると考え、健康経営を推進しております。社員のみみんなが安心して力を発揮できる労働環境をつくるため、ワークスタイルの変革を推進してまいります。

当社は4年連続で健康経営優良法人2022 ホワイト500に選ばれたほか、当年度は当社と、当社の特例子会社アイネット・データサービスが横浜健康経営認証2022の最高ランク「AAA」認証を取得いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



【障がい者雇用の促進】

『アイネット・データサービス』

障がいのある方に活躍の場を提供し、
自律を支援することを目的に特例子会社（厚生労働大臣認定）を設立

自立そして自律



■主な業務

データ入力
スキャニング



軽作業
名刺作成 他



【子育て支援サイト】

『働くママ応援し隊』

横浜市オープンデータを活用した保育施設検索サイト
「働くママ応援し隊」を開設・運営
2022年6月にリニューアル、子育てプログラムもスタート



スライドの左側をご覧ください。

当社は障がいのある方に活躍の場を提供し、自立を支援することを目的に、特例子会社を設立しております。おかげさまで、今年で13年目になり、28人の従業員を抱えることになりました。

右側をご覧ください。

2017年6月より、横浜市のオープンデータを活用して、保育施設の検索サイト、子育て、女性活躍支援サイトを立ち上げました。子育て支援が女性活躍推進につながる取り組みを実施しております。サイトは保護者にとってわかりやすい、検索しやすい、多くの情報が掲載されております。今後も、最新情報へのアップデートや、より充実したサイト運営を目指してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

アイネット地域振興財団は、地域社会の発展に貢献する社会活動を支援していくことで、ESG活動・社会貢献を実施しています。

神奈川県で以下の事業を行っております

- ① 以下に関する活動を行う団体等の持続性やその活動を支援・助成または評価・顕彰する事業
 - ・ 子ども・青少年の健全な育成、教育
 - ・ スポーツ等を通じた心身の健全な発展
 - ・ 公衆衛生の向上
 - ・ 環境保全・整備
 - ・ 地域社会の健全な発展
- ② その他公益目的を達成するために必要な事業

設立以降の支援実績は以下のとおりです。

- 2022年度：27団体
- 2021年度：22団体
- 2020年度：14団体

※ アイネット地域振興財団は、当社創業者最高顧問の池田典義が、神奈川県内で社会貢献活動（公益を目的とする活動）を行う団体の持続可能な活動を支援・助成することを目的に、設立した公益財団法人です。

財団ウェブサイトURL <https://www.inet-found.or.jp/>

アイネット地域振興財団は、地域社会の発展に貢献する社会活動の支援を目的に、当社の創業者であり、最高顧問でもある池田典義が設立した公益財団法人であります。神奈川県で ESG 活動・社会貢献活動の一環として、社会貢献活動を行う団体さんに対して支援を実施しております。

2022 年度の実績といたしましては、27 団体への支援を実施いたしました。引き続き、社会貢献活動を行う団体の持続可能な活動を支援することにより、地域社会の発展に貢献してまいりたいと存じます。

以上が、2023 年 3 月期第 2 四半期決算についてのご説明となります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

情報技術で*Enjoy Life*を応援します

<免責事項>

- 本資料は、当社グループの業績及びグループの事業戦略に関する情報提供を目的としたものであり、当社及び当社グループの株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載していますが、これらの情報は資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を 約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転載等を行わないようお願いいたします。

<問合せ先>

経営戦略・IR部
TEL 045-682-0806
E-Mail contact_ir@inet.co.jp



[visit our website](#)

情報技術で *Enjoy Life* を応援するアイネットを、今後ともご支援のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

私からのご説明は以上でございます。ご清聴ありがとうございました。

司会：坂井社長、ありがとうございました。決算説明は以上となります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

質疑応答

司会 [Q]：これより、質疑応答に移らせていただきます。

ご質問をいただきましたので、読み上げます。

データセンターが増収増益となりましたが、収益性確保に向けた今後の取り組みを教えてください。価格転嫁のための値上げの予定はありますか。

佐伯 [A]：事業統括担当の佐伯でございます。ご質問どうもありがとうございます。

電気代の高騰の対応ということでございますが、まず今期は、春先からかなり上がるだろうと予測をしておりまして、前期末に再エネ賦課金という部分のプラスアルファをさせていただきました。

ただ、それでは済まないぐらいに、ご承知のとおり、ウクライナの侵攻と、それから、円安がまだ続いておりますが、燃料調整費が大幅に高騰してまいりました。期中での交渉というのがなかなか難しいんですが、東京電力様のほうで、9月20日に来年度の新価格体系を発表されましたので、これを機に、来年4月からということで、値上げを今検討しておりまして、11月中から各社さんを回って、お願いに上がる予定でございます。

以上、お答え申し上げました。

司会 [A]：佐伯専務、ありがとうございました。

他に質問はございますでしょうか。

ないようですので、これにて本日の決算説明会を閉会とさせていただきます。決算説明会終了後にご質問がある場合は、スライドの一番後ろのページにあります、連絡先までご連絡ください。

なお、本日の模様は、後日アーカイブを当社ホームページにて公開いたします。

本日はお忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

